

森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会議名	平成29年8月森町教育委員会定例会					
開催日時	平成29年8月29日(火) 13時30分					
会場	森町文化会館 第3研修室					
出席委員	委員長	井口 始				
	委員	岡本孝祥				
	委員	村松加代子				
	委員	鈴木眞子				
	教育長	比奈地敏彦				
出席者	学校教育課	課長	西谷ひろみ	社会教育課	課長	鈴木富士男
		課長補佐	古川敏勝		技監	北島恵介
		学校教育係長	土屋智也乃		課長補佐	杉山秀彦
		庶務係長	岩井秀司		社会教育係長	藤原 崇
傍聴者	なし					

1 開会

委員長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-----	------------------

2 前回会議録の承認

委員長	事前に配付してある7月12日の臨時会及び前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
委員長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を求める。

3 教育長の報告

委員長	8月に開催及び出席した各種会議等について、教育長からの報告を求める。	
教育長	1日・課長会議 ・袋井・森議員合同研修会	(夏季休暇の過ごし方、献血運動への協力 町長と語る会日程等) (講演「小さな〈社会〉をたくさんつくる」～人口減少に立ち向かうために～ 東京大学 牧野篤教授より)
	2日・県教員育成協議会事前レク	(3日の協議会での協議内容の事前説明)
	3日・第2回静岡県教員育成協議会 ※静岡県庁にて ・第1回夢づくり大学理事会・役員会	(教員育成指標(案)検討 指標の活用方法について 教員研修 計画について等の協議) (年間計画 大学祭の開催 特別講座等について協議)
	4日・附属浜松中学校副校長等来庁 ・英語力向上研修会	(研究発表会の事前説明) (小学校における外国語教育について SWITCH ON の活用状況と課題について等)
	5日・広島平和記念式典派遣児童生徒 出発 ・文化協会講演会	(6年生2人 中学3年生2人 引率2人 (森中学校区)) (駒澤大学 廣瀬良弘前学長の講演 如仲天閻禅師と松堂高盛禅師)

	<p>6日・広島平和記念式典派遣児童生徒 帰町報告 (平和への強い思い、平和宣言の意義 森中、森小児童生徒(引率者含む6人))</p> <p>7日・国公立幼稚園こども園園長来庁 (教育振興に関する提案書提出と面談)</p> <p>・三役打合せ (採用予定者2次試験実施計画)</p> <p>9日・教育委員候補者宅訪問 (教育委員受諾の要請)</p> <p>10日・他地区への交流職員来庁 (交流1学期を経ての報告)</p> <p>・三役、総務課打合せ (組織見直し計画の中間報告検討)</p> <p>13日～15日・初盆供養 (初盆宅へ 6～7宅)</p> <p>15日・納涼花火大会 (観光協会とともに参加)</p> <p>16日・課長会議 (夏季休暇の利用 9月議会に向けて 町長と語る会等)</p> <p>21日・三役、総務課打合せ (組織見直し案再検討)</p> <p>25日・いじめ撲滅サミット (児童生徒主体のいじめ撲滅サミット ※初めての試み)</p> <p>・主幹教諭教務主任研修会 (来賓挨拶)</p> <p>28日・静岡県市町教育長研修会 (各市町の教育についての研究・協議、 ※三島市民文化会館 県教委からの報告・情報提供)</p> <p>29日・森町教育委員会 (8月定例教育委員会)</p> <p>・静西教育事務所指導主事来庁 (松田真和指導主事 近況報告)</p> <p>30日・磐周教育長会 (29年度末人事について意見交換)</p> <p>31日・いじめ対策推進委員会 (顔合わせ 情報交換)</p> <p>・校長会常務理事との交流会 (2学期以降の磐周教育の展望等 意見交換)</p>
委員 長	教育長の報告について、質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。

4 付議する案件

【議 事】

委員 長	議事について事務局に説明を求める。 議第21号について説明を求める。
学校教育課 課長補佐	<p>議第21号 平成29年9月補正予算の提出について</p> <p>小学校管理運営費 需用費修繕費については、防火設備修繕として、平成28年度末に防火扉の点検を行った結果、飯田小、宮園小、森小の3件について、早めの修繕が必要なため、9月の補正予算に計上。防火シャッター修繕は、前述の点検にて、飯田小学校の防火シャッターの修繕が必要となったため、予算計上。給食用エレベーター制御盤修理は、森小、天方小が対象となる。以上、合計2,357千円の補正予算を計上。</p> <p>次の委託料の防火設備検査委託料は、平成28年から義務化されたが、国の経過措置として平成31年度まで実施しなくても良いとされていたが、静岡県は、毎年行うと決定されたため、778千円の補正予算を計上。</p> <p>次の中学校管理運営費 需用費修繕費の防火設備修繕は、小学校と同様で、中学校3校分の修繕費929千円を計上。委託料の防火設備検査委託料も小学校と同様で、中学校3校分389千円を計上。</p> <p>以上、合計4,453千円の補正予算を計上。</p>
社会教育課長	<p>体育施設管理費 委託料 建築設備等定期検査報告業務については、学校教育課と同様に、平成28年6月1日から施行された改正建築基準法により、体育館の建築設備について、これらの報告が必要となったため249千円を計上するもの。</p>
委員 長	以上について質疑を求める。
村松 委員	委託料は毎年発生するのか。
学校教育課 課長補佐	毎年必要となる。これからは、当初予算に計上する。

委員 全員	他に質疑なく承認。
-------	-----------

【報告事項】

委員 長	<p>続いて報告事項について事務局に説明を求める。 報第19号について説明を求める。</p>
庶務係長	<p>報第19号 平成29年度森町教育委員会自己点検・評価報告書(平成28年度分)について教育委員会自己点検・評価は、6月の定例会で議案として提出し、指摘内容を修正したものを確認いただいた。7月24日に開催した外部評価会での有識者からの意見を報告書の14、15頁にまとめた。さらに、16頁から教育長による総合評価を記載した。今回承認されたら、9月議会で議員に報告し、その後ホームページに掲載して町民にも公表する予定。</p> <p>有識者からの意見は次のとおり。</p> <p>1の教育委員会の活動については、(5)の教育委員の自己研鑽が町独自の研修が未実施であるためB評価ということだが、定例会や協議会等で時宜にあった話題の提供や情報共有をしており、A評価でも良いと思う、との意見をいただいた。また、(6)の学校訪問では、毎年、学校や子ども様子について感想や意見を言うてくれる。教育委員が学校現場と距離が近いことは、森町の特色であり、学校としてもありがたい、とのこと。</p> <p>2の教育委員会が管理・執行する事務については、(1)の基本的な方針に關すること、森町教育大綱の「自ら学ぶまち」という文言が気になる。意図は伝わり、表現だけの問題であるため、第9次森町総合計画を受けて見直しを行うときに検討していただきたい、との意見をいただいた。また、(9)の教科用図書の採択は、今年度は該当がないが、非常に重要で大変な作業となるため、該当年度にはしっかり検討いただきたい、との意見があった。</p> <p>3の教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務のうち、学校教育に關することについては、幼稚園教育の(2)「感動体験を通して豊かな心を育む」がB評価となっているが、幼稚園ではかなり力を入れており、A評価でも良いと思う、とのこと。</p> <p>小学校・中学校教育の(3)「健康安全・命を守る教育の徹底」の評価内容について、「PTA等と協力し」の部分を地域との連携として、(7)「地域との連携を深める」に含めた方が良い。これらの項目は、教育委員会の評価であることから「各校では」ではなく、「町では」とした方が分かりやすい、とのこと。</p> <p>また、(7)の「連携を深める」というのは、教育課程に入れて行くことなのか、地域の人材を活用して教育活動を支えるのか不明確であり、観点を見直す必要がある、という意見もあった。</p> <p>学校教育が大きく変わりつつある中で、これらの評価を受けて、これからどのように進めるのが大切であり、特に(6)「幼・小・中一貫教育の推進」については、子どもの数が減る中で将来的なビジョンをもって推進していただきたい、という意見をいただいた。</p> <p>次に社会教育に關することについては、(4)「文化活動の振興」の「文化財の保護・保存・活用」について、潜在している文化財を保護・保存し、高校の跡地を資料室として活用して、後生に伝えるようお願いしたい、とのこと。</p> <p>「社会体育施設の充実と活用」では、グラウンドの危険箇所について、修繕の依頼があった。</p> <p>(6)図書館の「利用者への奉仕活動業務の充実」では、学校からの要請で必要な図書を選書して学校へ届けてくれる業務が、すぐに授業に活用できるので大変助かっている。小学校の国語では、教科書だけではなく、教科書題材の著者本を並行して読んで学習するので、今後もこの活動の充実を期待する、との意見をいただいた。また、「読書の普及活動と図書館活用促進活動の推進」は、個人貸出の減少を止められなかったためB評価ということだが、しっかり取り組んでいるだけに厳しい評価に見える、とのこと。</p> <p>約1時間半にわたり会議を行い、有識者からいただいた意見を報告した。</p>
教育 長	<p>総合評価としては、概ね計画通りできたことと、新首長との情報交換を図り、風通し良く双方向の報告・連絡・調整を行ったことを記載した。有識者による意見にもあるが、現場と距離が近い教育委員会として評価をいただいているので、今後も堅実に進めたい。</p> <p>教育委員会の活動については、特に「学校のあり方検討会」の方向性について、前町長とも、新町長とも話し合い、道筋を立てて同じ方向で前に進むことができたことは良かった。また、学校現場から「校区一貫の日」に委員の皆さんに来ていただいたことは、嬉し</p>

	<p>く思うとともに自信となるとの声があり、今後も垣根の低い教育委員会を目指したいと思う。</p> <p>教育委員会が管理・執行する事務については、予定している経費の中で、計画的に執行できたと思う。「学校のあり方検討会」については、いろいろな意見を聞き取りながら、教育委員会としての方向性をもって、総合教育会議に臨みたい。</p>
委員長	以上について質疑を求める。
岡本委員	教育委員会の自己評価よりも、高い評価をいただいたことは、ありがたいこと。これからも続けていくことが大切だと感じた。
村松委員	教育委員会全般のことであるが、評価のすべてを自分自身認識できていない。有識者の意見を聞くにあたり、もっと勉強しなければならないことがあると感じた。
鈴木委員	あり方検討会が立ち上がったことで、近くの人から今まで以上に教育について声を聞くことが多くなった。この自己点検・評価を復習として見ると、自分自身の中でも近く感じる。
委員長	<p>学識経験者による意見を読んで、学識経験者が評価や内容について、とても丁寧に読み取ってくれて、的確な指摘をいただいたと思った。表記の問題については、来年に活かすようお願いしたい。</p> <p>教育長の総合評価について、総合評価とは、教育長が再度評価する意味か、学識経験者の意見を含めた評価という意味だと思うが、教育長も教育委員も評価を行っており、「総合」という文字が付いてはいるが、再度評価というレベルではないと思う。ここでは、今後こうしたい、ということが書かれており、その部分を読み取ってもらいたい。これは、評価よりもっと大きなものであり、重要なことが書かれている。例えば、全体総括として教育長がまとめられているという考え方で良い。次年度以降に向けて検討をいただければと思う。</p>
村松委員	委員長の「はじめに」を受けて教育長の「まとめ」でも良いと思う。
岡本委員	「評価」という言葉より、「自己点検・評価の報告にあたって」のようにしたらどうか。
教育長	<p>それぞれの項目を振り返りながらまとめたうえで、全体を通したまとめを書いている。総括的に全体を通した方がまとめやすい。</p> <p>項目や見出しについては、次年度以降検討したい。</p>
全委員	他に質疑なく承認。

5 連絡事項

委員長	連絡事項について、説明を求める。
庶務係長	・9月の定例会は、9月26日（火）午後1時30分から第3研修室で開催予定。

6 閉会

委員長	<p>以上で本日の日程を終了し、閉会とする。</p> <p>14時07分閉会</p>
-----	--

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 委 員 長

委 員

委 員

委 員

教 育 長

事 務 局
